

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括弧	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定			5月		6月				7月			8月		9月	備考			
			21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27				
建屋内除染	共通	(実績) (予定)	検討・設計																		
		1号		(実績) ○【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善(継続) (予定) ○【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善(継続)	【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善 アクセスルート構築の検討(IRID)															完了時期 ・アクセスルート構築の検討(IRID):2017年度 上期予定 ・線量低減および干渉物除去等の検討:2017年 度上期予定	
		2号		(実績) ○【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善(継続) (予定) ○【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善(継続)	【検討】PCV内部詳細調査に向けた現場環境改善 アクセスルート構築の検討(IRID)																
		3号		(実績) (予定)	現場作業 検討・設計 現場作業															・現場環境改善の検討はPCV内部調査の結果 を踏まえて検討する。	
格納容器調査・補修	共通	(実績) ○【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定(継続) ○【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発(継続) ○【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討(継続) (予定) ○【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定(継続) ○【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発(継続) ○【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討(継続)	検討・設計	【研究開発】格納容器水張りまでの計画の策定 止水箇所に対する想定漏えい要因等の整理																	
		【研究開発】格納容器補修・止水技術の開発 [S/C脚部の補修技術開発]耐震性の検討・長期健全性の評価																			
		【バント管理設による止水技術開発】実機環境を想定した要素試験計画の策定																			
		[S/C内充填による止水技術開発] 実機環境を想定した要素試験計画の策定																			
		【真空破壊ライン・接続配管の止水技術開発】 真空破壊ライン用ガイドパイプ・止水プラグの改良																			
		【トラス室壁面貫通部の止水技術開発】 実機環境を想定した要素試験計画の策定																			
		【接続配管ヘローズ・機器ハッチシール部の止水技術開発】 実機環境を想定した要素試験計画の策定																			
		[D/Wシールの補修技術開発] 補修装置の概念設計および止水材の要素試験計画策定																			
		【研究開発】補修工法の実機適用に向けた環境改善の検討 補修工法の作業ステップの整理および干渉物・作業可能な線量等の検討																			
		1号		(実績)なし (予定)なし	現場作業																
2号	(実績)なし (予定)なし																				
3号	(実績)なし (予定)なし																				
燃料デブリ取り出し準備	共通	(実績) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発(継続) (予定) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発(継続)	検討・設計	【研究開発】PCV内部調査技術の開発 PCVベデスタル内(CRD下部、プラットフォーム上、ベデスタル地下階)調査技術の開発																	
		PCVベデスタル外(ベデスタル地下階、作業員アクセス口)調査技術の開発																			
		【研究開発】RPV内部調査技術の開発 穴あけ技術・調査技術の開発																			
燃料デブリ取り出し	1号	(実績)なし (予定)なし	現場作業																		
		2号		(実績)なし (予定)なし																	
		3号		(実績)格納容器内部調査(継続) (予定)格納容器内部調査(継続)	PCV内部調査 装置製作・習熟訓練 調査準備 実施時期調整中 常設監視計器取外し 準備・実施 常設監視計器取付 PCV内部調査																

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括弧	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定			5月		6月				7月			8月		9月	備考
			21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27	
RPV/PCV健全性維持		(実績) ○【研究開発】圧力容器/格納容器の腐食抑制技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器/格納容器の耐震性・影響評価手法の開発(継続) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施(継続) (予定) ○【研究開発】圧力容器/格納容器の腐食抑制技術の開発(継続) ○【研究開発】圧力容器/格納容器の耐震性・影響評価手法の開発(継続) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施(継続)	検討・設計	【研究開発】圧力容器/格納容器の腐食抑制技術の開発														
			現場作業	【研究開発】腐食抑制剤の選定														
炉心状況把握		(実績) 【炉心状況把握解析】 ○【研究開発】事故時プラント挙動の分析(継続) ○事故関連factデータベース構築(継続) ○【研究開発】炉内状況の総合的な分析・評価(継続) ○3号機ミュオン透過法による測定(継続) (予定) 【炉心状況把握解析】 ○【研究開発】事故時プラント挙動の分析(継続) ○事故関連factデータベース構築(継続) ○【研究開発】炉内状況の総合的な分析・評価(継続) ○3号機ミュオン透過法による測定(継続)	検討・設計	【研究開発】炉心状況把握解析														
			現場作業	3号機 ミュオン透過法 測定/評価														
燃料デブリ取り出し準備	取出後の燃料デブリ安定保管	(実績) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握 ・収納/保管に資するデブリ特性の把握(継続) ・MCC I生成物の特性評価(継続) ・分析に必要な要素技術開発(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握 ・収納/保管に資するデブリ特性の把握(継続) ・MCC I生成物の特性評価(継続) ・分析に必要な要素技術開発(継続)	検討・設計	【研究開発】燃料デブリ性状把握														
			現場作業	3号機 ミュオン透過法 測定/評価														
燃料デブリ臨界管理技術の開発		(実績) ○【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発 ・臨界評価(継続) ・炉内の再臨界検知技術の開発(継続) ・臨界防止技術の開発(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発 ・臨界評価(継続) ・炉内の再臨界検知技術の開発(継続) ・臨界防止技術の開発(継続)	検討・設計	【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発														
			現場作業	燃料デブリ性状把握														
燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発		(実績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 燃料デブリ収納缶の移送・保管システムの検討(継続) 燃料デブリ収納缶の仕様、安全評価に関わる検討(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 燃料デブリ収納缶の移送・保管システムの検討(継続) 燃料デブリ収納缶の仕様、安全評価に関わる検討(継続)	検討・設計	【研究開発】燃料デブリ収納缶の移送・保管システムの検討														
			現場作業	燃料デブリ性状把握														

測定終了時期は検討中